

@ 絶対零度

ノーベル賞学者が語る絶対零度の世界

2010年 3月13日 (土)

13:30 ~ 15:40 (開場 13:00)

東京大学 武田ホール (武田先端知ビル5階)

定員 300 名 (参加無料、事前申込不要)

13:30 ~ 13:50 はじめに

— 極低温科学へのご招待

福山 寛

低温センター長、理学系研究科教授

13:50 ~ 14:20 強相関電子系って何？

— ひしめきあう電子たち

朝光 敦

低温センター准教授

14:20 ~ 15:20 絶対零度

— 動きまわる原子たち

**So, What Really Happens
at Absolute Zero?**

Prof. Douglas D. Osheroff
Stanford University

(日本語の字幕・資料付)

15:20 ~ 15:40 質疑応答



ダグラス・D・オશેロフ
(スタンフォード大学教授)
1996年ノーベル物理学賞

オશેロフ教授は、大学院博士課程の学生だった1971年、通常のヘリウム4の同位体であるヘリウム3の液体が絶対零度まで1000分の3ケルビンという超低温で、粘性なく自由に流れる「超流動」状態に転移することを発見しました。その後も独創的な実験を次々行い、この超流体の不思議な性質を解明した功績で1996年にノーベル物理学賞を受賞しました。



主催・お問い合わせ：
東京大学 低温センター

TEL : 03-5841-2852 E-MAIL : email@crc.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.crc.u-tokyo.ac.jp/PL/2010-1/index.html>